

八木市長二期目の市政を問う

質問

今回の市長選結果は市民の賢明な判断と考える。

投票した市民の約3/4近くの信任を得たが、市民には多数の意見があり、投票の1/4は他候補を選択した事実を踏まえ、二期目の市政運営は慎重かつ大胆に行ってほしいと願う。

そこで市政運営の留意点についてたずねる。

今回の市長選で「八木忠男ローカルマニフェスト」の公約を発表、六つの基本政策を掲げ当選されたが、基本政策内容は、今議会冒頭で市長の施政方針説明と議員質問の答弁で理解したが、改めて公約

の実施時期と方法についてたずねる。

市長は当初より「信頼・共生・協働」を重視しているがこの崇高な理念の具体化についてうかがいたい。

市長

二期目は「融和から発展」へのスローガンでマニフェストを出した。融和を図りつつ、新しい町づくり発展に向けて進めたい。

公約内容は子供医療費6年生までと妊産婦検診14回までの無料化、小中学校耐震補強、公立保育園の耐震診断、企業誘致の基盤づくりなどである。

愛西市は特にメインイベントも無いが、蓮見の会や市内の史跡などもあり、観光協会、国際協会の設立を民間主導で希望している。

「信頼・共生・協働」の言葉は今後も持ちつつ、信頼関係は本物で接する事。共生は健康者障害者など全ての市民が共に生きていける町づくり。協働は市民参加の協働の場づくりである。



田中秀彦 議員



期日前投票の問題点

質問

今年の市長選、市議補選で旧八開、佐織地区住民より、期日前投票所が一箇所になり大変不便になったと苦情があった。

そこで4年前の市長選、市議会議員選挙の地区別、期日前投票数と、今回一箇所での期日前投票数は。

総務部長

投票人数は、17年初の市長選は、投票率67・28%、期日前投票数は2千763人で、旧佐屋1千304人、立田226人、八開178人、佐織1千55人である。

18年の市議会議員選挙の投票率72・48%で、期日前投票数は3千79人で、旧佐屋1千765人、立田403人、八開340人、佐織1千211人である。

今年の市長選の投票率は56・96%で、旧佐屋1千416人、立田149人、八開84人、佐織482人である。

その他の質問

○公共下水道事業を問う。